

安保破棄ニユース

No. 503
2019. 3. 15

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒545-0001 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 06-6763-1383
FAX 06-6763-1386
●Eメール ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ <http://www.ampo-osk.jp>

従い、「戦争する国」づくりに邁進するため強権的な暴走を続ける存在だということだ。

であるならば、次に私たち全国の国民がなすべきことは、来る統一地方選挙、参議院選挙において、平和を愛し、憲法をくらしに生かす政治を実現するためにはたらく議員を大きく増やし、安倍政権、そして大阪では維新政治を終わらせること以外にはありません。

そして、私たち大阪安保には、昨年7月に全国知事会が全会一致で採択し、政府に提出した「提言」に基づく日米地位協定の抜本的見直しを求める運動を大阪全体でもとりくみ、合わせて、辺野古新基地建設反対、普天間基地の無条件閉鎖・撤去を求める意見広告を全国紙に載せる運動を強化することが求められています。

共にがんばりましょう。

【新刊紹介】
あけぼのブックレット4

「辺野古新基地は必ず止められる」

沖縄のあけぼの出版から新刊ブックレット『辺野古新基地は必ず止められる』が発行されました。全国で、「辺野古新基地建設絶対阻止」の流れを作るためにも、是非ご活用ください。

玉城デニーさんが勝利した昨年の沖縄県知事選挙の迫真のルポ、故翁長雄志知事の遺志でおこなった埋め立て承認撤回の意味の解明。辺野古新基地建設がいかに違法なものなのか、辺野古につくられようとしている新基地はどのようなものかなどがまとめられています。

これを読めば、辺野古新基地建設はそもそも無理なこと、私たちがたたかいてによって、必ず止められるということに確信が持てます。

1部600円です。大阪安保では、10冊以上購入で、割引があります。何人かで集まって一緒に読んで学習すればより深まります。是非大量購入でご利用ください。

全国から示そう！

辺野古新基地建設NO！

安倍政権は「普天間飛行場の危険性を除去」し、「沖縄の負担軽減」をはかるためには「辺野古移設が唯一の解決策」と言い続け、沖縄県知事選挙において、翁長知事の遺志を引き継ぎ「辺野古新基地建設反対」を真正面に掲げて戦った玉城デニー氏が圧勝しても、「選挙は一つの争点で戦われたわけではない」という理屈をつけて辺野古新基地建設を続けています。

この様に「民意」を無視し、米軍新基地建設を強行する対応は、日本国憲法の原理である「民主主義」「基本的人権の尊重」「平和主義」、そしてそ

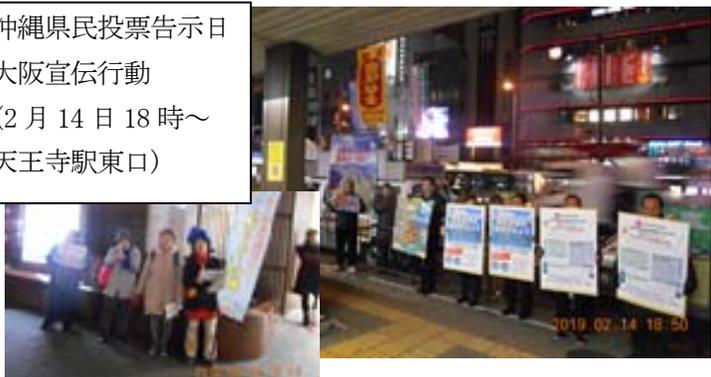
の「民主主義」を支える「地方自治」を蹂躪する行為です。今回の県民投票は、埋め立て承認「取り消し」に関する裁判（2016年9月）の判決や、安倍政権の主張を踏まえて争点を一つに絞り、沖縄県民の「民意」を改めて示し、「沖縄のことは、沖縄で決める」ためにとりくまれました。

憲法や地方自治法からも、今回の結果に基づき、安倍政権は今度こそ沖縄県民の「民意」を尊重し、辺野古新基地建設を断念して直ちに工事を中止するとともに、アメリカ政府と責任をもって交渉し、国際法に反して造られ、今もなお沖縄県民の安心・安全、そして「主権」を脅かしている普天間基地をただちに、無条件閉鎖・撤去させるべきです。

ところが、3月1日、2月24日に実施された県民投票（投票率52.48%）によって示された、辺野古米軍基地建設のための埋め立てに「反対」の圧倒的な「民意」（得票率71.7%、43万4273票）を伝えるために訪れた玉城知事と面談した安倍首相は、「結果を真摯に受け止める」と言いながら、やはり、「米軍普天間飛行場の危険性除去について、先送りには許されないと答え、知事が要望した3点のうち「日本政府とアメリカ政府に沖縄県を加えた三者協議会の設置」については、コメントしなかったと報道されています。

まさに、この姿勢こそが安倍政権の存在を象徴していると言えます。つまり、「辺野古新基地建設は日本の国の安全保障上の問題であり、国の専権事項なのだから、沖縄県がどうこう言える問題ではない」という認識であり、安倍政権は、いよいよ日本の国の「主権」を放棄してまでもアメリカに付き

沖縄県民投票告示日
大阪宣伝行動
(2月14日18時～
天王寺駅東口)



辺野古新基地は必ず止められる



目次

- 【I】 県民の歴史的な大勝利を示した
沖縄県知事選挙
- 【II】 辺野古新基地は絶対に
「造れない」「造らせない」
(1) 翁長知事の「撤回」が意味するもの
(2) 立ちはだかる県知事権限
- 【III】 辺野古新基地計画は、
最新鋭の海兵隊基地建設だ！
(1) 単なる普天間の「移設」計画ではない
(2) 「辺野古新基地はいらない」
世論を多数派に
- 【IV】 「新基地断念」まで、
決してあきらめない

当面の予定

3月
16日(土) 安保破棄大阪実行委員会 2019年総会(幹事会)
(13:30~大阪民医連会議室)

20日(水) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00~淀屋橋)
23日(土) アン・ライトさん「来日講演会」
(13:30~エルおおさか)

4月
3日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00~大阪安保)
19日(金) 大阪安保主催沖縄連帯ツアー参加申し込み締め切り
23日(火) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00~淀屋橋)

5月
1日(水) 第90回大阪メーデー(13:30~扇町公園)
3日(金) 大阪総がかり実行行動委員会「5・3府民集会」
8日(水) 大阪安保常任幹事会(10:00~大阪安保)

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会 2019年「総会」(幹事会)

日時: 2019年3月16日(土)

13:00 受付開始、13:30 開会

場所: 大阪民医連会議室 《堺筋本町駅より徒歩一分》

(大阪市中央区南本町2-1-8 創建本町ビル2階)

学習: 「県民投票後、沖縄・全国でいかにたたかうか」(仮)

講師: 林竜二郎さん

(日本共産党基地対策委員、安保破棄中央実行委員会事務局次長)

2018年の活動を振り返り総括し、2019年の活動をどのように方向づけ作っていくかを議論し決定する大切な総会です。

各団体からのご出席、個人幹事の方々のご出席よろしくお願ひします。

ギーを進めることのできる力を持つていることなどが話されまし
た。また先進国より途上国の方が再生可能エネルギー比率が高いこ
とや、市民や地域が中心となっ
て再生可能エネルギー普及をす
めてきていること、再生可能
エネルギーの普及は地域活性化
につながることも示されました。
福島からの避難者である菅野
さんは、「放射能が拡散したら
子どもを守ることはできないの
です」と、放射能の恐ろしさを
強く語られました。リレート
クでは、大阪各地で原発ゼロの



原発なくし 未来を守ろう!

市民の力で、進めよう! 自然エネルギー

東日本大震災・福島原発事故から
8年となる日の前日、3月10日に、
原発ゼロの会おおさか主催の「なく
せ原発 再稼働はんたい! おおさか
大集会2019」がエルおおさかで、
500人が集まり開催されました。
午前中は、自然エネルギー推進の活
動交流が行われ、午後には、大集会
が行われました。和歌山大学教授・
自然エネルギー市民の会代表の和田
武氏を講師に招き、「どうつくる?ど
うすすめる?自然エネルギー」と題
して記念講演をしていただきました。
地球温暖化の現状とその危険性、現
在多くの国ですすめられている再生
可能エネルギー推進の動きと日本の
現状、そして日本は再生可能エネル

23 宣伝行動

2月の23定例宣伝行動を、22日金曜日に行いました。弁士によるうたえと、沖縄県民投票に連帯しようと呼びかけるビラ配布、プラスターを持つてのスタンディング、辺野古新基地建設工事中止と普天間基地の無条件撤去を求める請願署名への協力呼びかけを10人の参加者で行いました。弁士は自治労連、日中友好協会、大阪労連、日本共産党から出してもらいました。

大正区在住の沖縄出身の方が、立ち止まって弁士の訴えを聞いてくれていて、署名もしてもらえ、自らの思いを話してくれました。

3月の23宣伝行動は、選挙告示日との関係で、前倒しして20日に行います。

是非、ご参加ください。



取り組みなどを行っている10の団体から発言してもらいました。
集会后、中之島公会堂前までパレードを行いました。
日本の原発導入は、アメリカの核兵器開
発・増強と一体となって強行されました。
日米原子力協定によって対米従属のもと原
発政策は進められてきました。燃料である
濃縮ウランも原子炉やタービンなどの施設
もアメリカ頼みだったのです。このように
原発推進によって日本のエネルギーもアメ
リカに握られてきているのです。
原発ゼロの実現は、対米従属から抜け出
し、真に自立した国となることにつながり
ます。
未来を守るためにも、原発ゼロを実現し
ましょう。

